

▶市民活動センターとは・・・

様々な分野のボランティアや市民活動を行っている方々、またこれから活動しようと考えている方々のための交流拠点施設。団体同士のネットワーク化を進め、市民活動の活性化を図ることを目的とする。平成 20 年 10 月 1 日より直営により運営し、平成 30 年度から指定管理者制度へ移行。令和 5 年 4 月より（有）ステージサービスによる管理運営が開始。

重点項目 1

様々な主体へのコーディネート・ネットワーキング機能の拡充

多様な分野を対象にした研修会や講座、交流事業の実施を通して市民活動団体や地域、行政などへアプローチを行い、様々な主体が出会い連携する流れを促進する。

- 市民活動団体と補助・助成団体のパートナーシップ構築のための合同説明会・名刺交換会・個別相談会（春季、秋季）
- 長崎市の市民活動団体が申請できる補助金・助成金を取り扱う団体同士の意見交換会
- 庭の井戸を活用した水循環交流会（NPO 法人との協働）
- 継続して活動するネットワークのポイントを学ぶ交流会（ながのボランティア・市民活動ネットワークとの協働）
- 福岡市 NPO・ボランティアセンター「あすみん」、(公財) 佐賀未来創造基金、九州地方環境パートナーシップ (EPO 九州) といった中間支援専門員による相談会
- 長崎市中心総合事務所、長崎市公務員イノベーション研究会等が主催する研修の企画及び運営支援
- 災害時非常食の配布先コーディネート（NPO 法人との協働）
- フェアトレード体験交流会
- 東日本大震災 15 年企画（仙台市、長崎市の NPO との協働、3 月）



▶建物概要

所在地：馬町 21 番地 1

建築年：大正 11 年 構造：木造 2 階建 建築面積：228.24 m²

有料施設：事務室(5 室)・会議室・事務機器(印刷機等)

無料施設：交流サロン・ロッカー・作業スペース・メールボックス(162 区画)・伝習所の部屋

開館時間：平日 8:45～22:00 土日祝日 8:45～17:30

重点項目 2

若い世代への参画促進の強化

HP や SNS などインターネットの活用や、地域で活動を行う若い世代及びその拠点への草の根的なコミットを通して、多様な主体が参画する新しい時代の市民活動像を模索する。

- 長崎大学創楽堂と協働したトークセッション「新しいハコモノのカタチ」
- 佐世保市ボランティアセンター、大村市ボランティアセンターと協働した 3 市若者ボランティア団体交流会
- 子どもの居場所づくりに取り組んだ若者の体験シェア会（ボランティア団体との協働）
- SDGs 地方創生カードゲームで学ぶまちづくり体験会



▶事業内容

- ①市民活動を行う者の交流の促進に関すること。
- ②市民活動に関する研修会、講座等の開催に関すること。
- ③市民活動に関する相談に関すること。
- ④市民活動に関する情報の収集及び提供に関すること。
- ⑤センターの施設及び設備の提供に関すること。

重点項目 3

市民活動団体の経営能力の強化

事業における収支予算計画の策定アドバイスや助成情報の周知、申請書類作成のサポートなどを行うことで、団体の経営能力の強化に繋げる。また、団体の抱える課題に応じて、市民活動アドバイザーとのマッチングや研修会を実施し、より実践的な団体経営能力の引き上げ、強化に努める。

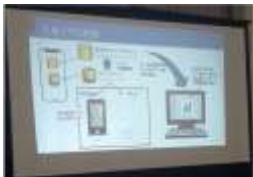
- 組織運営力アップ講座（4 回シリーズ：計 93 人）
「相利開発で地域の課題を解決しよう！」(NPO 法人と協働)
- NPO 法人協力アカデミーの LINE オープンチャットを使用した伴走支援及び研修会（2 回）の開催支援
- 助成金申請サポート（17 件採択）
- 組織運営に関する相談対応（54 件）
- 市民活動団体向け助成金レポート発行
- 2024 年度相談事業報告書発行
- 長崎県共同募金会ファーストベンギン応援事業伴走支援
- 県民ボランティア活動支援センター、佐世保市ボランティアセンター、大村市ボランティアセンター、長崎県よろず支援拠点等と連携した対応

重点項目 4

アフターコロナを意識した活動支援の強化

研修会や講座では対面とオンラインのハイブリット型の事業展開を通して、社会情勢が変化しても絶えることのない活動方法の開発と共有に努める。デジタル技術導入を検討する市民活動団体には機材の貸し出しや講習会の実施など実践的なサポートを行う。

- スマートレシート交流会（ボランティア団体との協働）
- オンライン、SNS、メールによる相談対応
- オンライン講座の運営支援
- 九電みらい財団助成事業のオンライン説明会



重点項目 5

時代ニーズに合った事業の実施

時代のニーズに合った事業や研修会の実施。対面開催+オンラインのハイブリット開催を積極的に行うことで、これまで馴染みがなく、時間的な制約などで参加が困難だった層へもアプローチを行い、未来の市民活動を担う層の開拓に務める。

- 女性活躍推進をテーマにした映画上映及び団体の活動紹介展示（不動産研ながさき市立図書館と協働）
- canva 等による PR 素材の作成支援
- NGO 入門講座及び個別相談会



その他の実績

- R7.4 月～2 月利用者数 6,094 人（前年度 6,373 人/前年度比△279 人）
- R7.4 月～2 月相談件数 494 件（前年度 526 件/前年度比△32 件）
- R7.4 月～2 月情報発信 SNS（452 件）、メルマガ（77 件）、ホームページ（76 件）
- 情報誌の発行（毎月：400 部）
- リーフレット作製（1,000 部）
- 市内 5 箇所の公共施設へチラシを配架する情報ラックの管理
- 市役所 1 階デジタルサイネージでの団体 PR のコーディネート
- 長崎市、諫早市、平戸市での災害ボランティア講話及び災害ボランティアセンター設置運営訓練参加（6 回）
- 市町村協ボランティア担当者及び中間支援組織職員会議出席
- 自主事業 九州 NPO 支援ネットワークミーティング開催
- 各種研修、講座、交流会、イベントへの職員参加（15 回）